

歴史探訪 ^{こがづか} 御願塚古墳 (その1)

～御願塚村に官軍長州兵が入って来た～

26期 兼田吉治

はじめに

最初に、なぜこのようなローカルなテーマについて書くことになったのか、その経緯について触れておきたいと思います。

2021年4月からNHKBSプレミアムでBS時代劇「小吉の女房2」が放映された。その第2話(4月9日放送)の中で、主人公“お信”の夫である勝小吉(勝海舟の父)が、世話になっている地主の岡野孫一郎の借金を返すため、岡野家の知行地(支配地)のひとつである御願塚村



御願塚古墳 (Google マップより)

(兵庫県伊丹市)へ出向き、御願塚村の代官 山田新右衛門の屋敷に1ヶ月ほど逗留して、いろいろな策を講じながら400両(500両の説もあり)を確保する話があった。小吉は村人が金を出し渋っているので「金策ができれば面目がない。今晚切腹するから亡骸を倅(勝海舟)に渡してくれ」と脅して金を出させます。このドラマは全国放送されたので見られた方も多いと思います。

このドラマを見られた前田事務局長が、「御願塚村と言えば18期の佐藤寅夫さん(北辰会会計監査)が御願塚古墳の保存のためにボランティアで奮闘されている地区のことや!」、「江戸時代から存在する凄いいところやな〜!」、「誰か北辰会に向けて“御願塚古墳と御願塚村”について原稿を書いてくれませんか〜」と佐藤寅夫さんに相談された結果、佐藤さんから「私はよう書かん。同じ御願塚の近くに住む兼田事務局次長が居るやないか!」と言うことになり私にお鉢が回ってきた次第です。

御願塚古墳について調べてみると、5世紀後半に造られたほぼ造営当時の原型を留めている帆立貝式の前円後円墳であることや、地名の由来、古墳保存会の活動、江戸時代の御願塚村の様子など興味ある事柄が多くあることが分かって来た。

そこで、今回は先の「小吉の女房」の背景となっている江戸時代の御願塚村の様子や、それに続く幕末の御願塚村にまつわる出来事について書いてみたいと思う。更に、次回は御願塚古墳の概要や地名の由来、古墳保存会の活動などについて触れてみたいと思います。

「小吉の女房」に描かれた時代の御願塚村の支配

先の「小吉の女房」は勝小吉の著書【夢酔独言】(むすいどくげん:無頼の生涯を独特の語り口で晩年(1843年)に綴った自伝)を元に描かれており、小吉は俗称で勝左衛門太郎惟寅(これとら)(号夢酔)といい、勝海舟の父親で41石取の旗本である。幕末の岡野家9代目 岡野融政(おかのとおまさ)(岡野孫一郎融政)は、江戸城下になる所入江町の拝領地(540坪)に屋敷を構え1412石を知行した旗本で、相模(高座郡淵野辺村)と摂津(川辺郡御願塚村)に知行所を所有した。しかし、岡野家も9代目の頃は御書院番から小普請(こぶしん)になっていた。この小普請と言うのは無役無勤の者で勝家も同じであった。勝小吉は無役だったため経済的に困窮していて、江戸岡野邸敷地内の借家に住み、勝小吉と、妻・

お信、子の勝海舟(勝麟太郎)、の一家は1831年～1841年12月まで約10年間、岡野家の世話になっていた。勝麟太郎は、9歳～19歳頃までの青春時代を岡野家の屋敷にて過ごし勉学に励んだことになる。

しかし、この岡野孫一郎は酒色にうつつを抜かず道楽者で、とうとう無役になってしまった。更に、多額の借金を抱えたため、岡野家に奉公していた大川丈助から、借金339両を返済しないと、幕府の評定所へ訴えると脅される。この岡野家断絶の危機に、借金の返済を勝小吉が手伝ったのが知行地である御願塚村へ出向いての400両の確保だった。1838年11月～12月のことである。先に記載した、小吉が御願塚村に滞在し金を出させるためにあの手この手をつくす話は「夢酔独言」に多くのページを割いて書かれている。例えば、竹槍百姓に旅宿を取り囲まれる話や、大阪の町奉行堀伊賀守が知り合いで仲良しだと偽って村人の信用を得る話。村の悪輩を連れて能勢妙見へ参詣に出た小吉が雨降りを予言して悪輩達をへこませる話。村人を誘って伊丹に飲みに行く話など等。当時の御願塚村人の様子も垣間見ることができが、ここでは紙面の関係上省く。

村の支配に関しては、当時の御願塚村には旗本4家の領地が配置されていた。複数の領主でひとつの村を支配するのを「相給(あいきゅう)村落」と呼び、領主ごとに土地も人も分割されていて、それぞれに代官(領主の代行)、庄屋(百姓の身分で領地百姓の取りまとめ)が置かれ年貢の徴収などに当たっていた。御願塚村は旗本4家の中で岡野家の知行512石が最大であり、岡野家としても家の財政を支える知行地であった。



写真1 徳川慶喜追討令の制札(糸海第36号より)

御願塚村に官軍長州兵が入って来た

「小吉の女房」に描かれた時代から30年後の慶応4年1月3日～6日(1868年1月27日～30日)に戊辰戦争の初戦となる鳥羽・伏見の戦いが行われた。朝廷では1月4日に仁和寺宮嘉彰親王を征討大將軍に任命し、**錦の御旗**(注1)と**節刀**(注2)を与え、新政府軍を官軍として任じた。鳥羽伏見の戦いに敗れた旧幕府軍は、朝廷に刃向かう賊徒となった。新政府



写真2 官軍先鋒長州の制札(糸海第36号より)

府は1月10日に慶喜追討令(写真1)を出すとともに、「農商布告」も出し、幕府領の没収を宣言した。幕府領である天領のみならず、旗本の領地も没収の対象となった。この領地没収を実行するために伊丹地方など西摂諸郡には長州兵が入ってきた。慶応4年1月15、16日には御願塚村に長州兵が来て大阪参謀方取次役所が置かれた。御願塚村は旗本相給居

り組みであり、領地没収の対象地であった。長州兵は村々の郷蔵を封印し、村方には郷蔵の残米の保管を命じている。伊丹市博物館にはこれに関わる「辰正月廿四日」付けの「官軍先鋒長州」の**制札**(注3)(写真2)が保管されているそうである。その制札には「徳川領地同家臣領地被召上候」とあって、天領のみならず旗本領も没収の対象になることが書かれている。長州兵が御願塚村に入って来たのは鳥羽・伏見の戦いからわずか10日後の事である。江戸城無血開城より3ヶ月も前の事で、「官軍先鋒長州」と書き記したことがよく理解できる。尚、2つの制札が伊丹の何処に立てられたかは定かでない。

御願塚村の北隣地である伊丹村は近衛家の領地(716石)であった。近衛家は公家5摂家(摂政関白になることができる家柄)のひとつであったが、**王政復古**(注4)によって摂家の名称がなくなったことから、**惣宿老**(注5)は近衛家が「左大臣様」と呼称されるようになったことを町中に触れたという。王政復古の号令の中で世の中が大きく変化してゆく一面が御願塚村や伊丹村にも訪れていたのである。

折しも新型コロナウイルスによるパンデミックの最中である。日本中、いや世界中がCovid-19に恐れ慄いた生活は、50年後、100年後に語り継がれる事でしょう。私達は48年前のオイルショックや13年前のリーマンショックと、それに続く経済的打撃も経験しました。歴史に残る重大な出来事は私達のすぐ隣で起きていて、生活の中に訪れています。教訓にしたいものです。

終わりに

伊丹南部の御願塚地区に関する幕末の出来事を記しましたが、歴史好きで調べて書きましたが、何分素人であり史実にどこまで忠実であるかは自信がありません。しかし、私達北辰会員が住む畿内には歴史的に古い町が多く、歴史的な出来事、もの、文化が沢山あります。会員諸氏に身近な出来事として捉えて頂き、「近くの歴史や民話、文化などを、気軽に北辰会に寄稿して頂くことが出来たらいいな」と思い執筆した次第です。

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下で外出自粛の毎日です。気鬱にならないよう外に目を向けて元気に明るく過ごしましょう。

(注1) **錦の御旗**(にしきのみはた): 天皇(朝廷)の軍(官軍)の旗。略称**錦旗**(きんき)。朝敵討伐の証として、天皇から官軍の大將に与える慣習がある。

(注2) **節刀**(せつとう): 日本の歴史において、天皇が出征する将軍または遣唐使の大使に持たせた、任命の印としての刀。標の太刀(しるしのたち)。任務を終了すると天皇に返還された。

(注3) **制札**: 古代から明治時代初期にかけて行われた法令(一般法、基本法)を板面に記して往来などに掲示して民衆に周知させる方法を高札(こうさつ)と呼び、特定の相手や事柄を対象として制定された法令(特別法)を記した同様の掲示を**制札**(せいさつ)と呼ぶ。

(注4) **王政復古**: 明治維新により武家政治を廃し君主政体に復した政治転換を指す語。江戸幕府第15代将軍・徳川慶喜の大政奉還を受けて、慶応3年12月9日(1868年1月3日)、明治天皇より「王政復古の号令」が発せられ、江戸幕府廃止、同時に摂政・関白等の廃止と三職の設置、などが宣言され、新政府が成立した。

(注5) **惣宿老**: 伊丹郷町の頂点にいて町政をつかさどるのが惣宿老で、その下に町庄屋、町々の年寄、村々の庄屋・年寄があり、酒造業においては酒造年行司が置かれていた。この惣宿老制は、近衛家が寛文元年(1661年)伊丹の領主となって36年後の元禄十年(1697年)に制度化された。

【参考資料】

[1] 絲海第36号 伊丹市文化財保存協会 平成23年6月25日発行

[2] Wikipedia 「小吉の女房」、「勝小吉」、「岡野孫一郎」、「夢酔独言」、「鳥羽・伏見の戦い」、他

[3] マンガで読める「夢酔独言」 第113話～第122話

[4] 小西酒造 FUJIYAMA.NET 伊丹歴史探訪 第12章 伊丹酒造業と小西家 -古文書からの考察-